

所沢市立富岡中学校だより 終業式号

令和5年12月22日

松の風

明日を背負いて

生徒数：227名

住所：所沢市神米金404

電話：04-2942-0312

FAX：04-2942-5642

<https://tomioka-jh-tokorozawa.edumap.jp/>

「感謝」と「挑戦」

校長 相川史生

〈終業式より〉

長かった2学期も、いよいよ今日で終了となります。今年も「コロナ」で始まり、たくさんの制限がありました。5月には5類に移行し、多くの制限がなくなり、様々なことがかつてのようにできるようになってきました。本当にうれしい限りです。

まず、1学期には「1・2年生合同校外学習」ができました。2年生にとって「先輩」と呼ばれるようになってからの合同行事、1年生にとっては初めての校外行事でした。忙しかたけれど充実した取り組みでした。また、3年生にとって最後の「学校総合体育大会」。結果は様々だったと思いますが、これまでの部活動への積み重ねは、今後の生活に必ず生きてくるはず

です。2学期は「体育祭」でスタートしました。4年ぶりに全校生徒が一堂に集まって行われた体育祭。勝敗は出たものの、どの学年の生徒も「一生懸命」でした。そして「松の木祭」。コロナのころは、歌を歌うこともできませんでしたが、今年はマスクをとって、普通に「合唱」をすることができました。「普通にできる」ことのありがたさを、改めて感じました。そのほかにも、2年生が中心となる「新人戦」、「ふれあいチャレンジ」と、コロナ前まで取り組んでいたことがどんどんできるようになってきました。本当にありがたいと感じました。

このコロナで大変だった4年間があるからこそ、今「普通にできていること」に「感謝」したいと思う今日この頃です。

先日「僕はあの夏を取り戻す」ということを発信し、1人の大学生が「2020年に戦後初めて中止となった夏の甲子園を3年越しに取り戻す」というリアリティーショーを実現させました。この発信で、数多くのファンを獲得することに成功し、46チーム総勢1,000人の元高校球児の参加が決定し、2020年の「甲子園大会」が行われたことが報道されました。あの夏の「夢」を、完全にではないけれど、取り戻しました。とても記憶に残る素晴らしい出来事でした。当時、「夢」を奪われた人はたくさんいたと思います。皆さんもその一人だと思います。

でも、時がたつと、人はだんだんその時の苦しかったことを忘れてしまい、今できていることが当たり前のように生活をしてしまいます。私も含めて。

もう二度と、あのような苦しい生活はしたくありません。と同時に、「今」無事に生活できていることに、改めて「感謝」の気持ちを持つことも、とても大切なことだと思います。

様々なことがかけめくった「2023年」。苦しいこともありました。楽しいこともあったはず。そして、これからやってくる「2024年」も、同じように多くのことがあると思います。

来る「2024年」は、これまでのことができることへの「感謝」の気持ちを忘れないと同時に、新しい出来事に「挑戦」するという気持ちで頑張ってもらいたいと思います。

皆さん良いお年をお迎えください。